

採択テーマ：

ハイブリッドVTOL機の技術開発と実証

事業の目的・概要

- 多くの島しょ部や広い領土・領海を有する日本において、物流分野での省人化・効率化のため、物資輸送ニーズを十分に満たす飛行距離とペイロード（積載重量）を両立した無人航空機が必要とされている。
- 30～50kg程度の物資を最大1000km程度輸送できる、垂直離着陸可能な無人航空機の実現に向け、水素、持続可能な航空燃料（SAF）といった代替燃料で運用可能なハイブリッド動力システム、高出力モーター、軽量構造技術などの要素技術を開発し、それらを統合した試験機で評価試験を行う。
- 離島間や洋上インフラへの物資輸送などの場面で無人航空機が活躍する社会の実現を目指す。

事業期間（予定）

2024年度～2028年度（5年間）

事業規模など

- 事業規模：50億円
- 契約形態：委託事業

主な研究開発内容

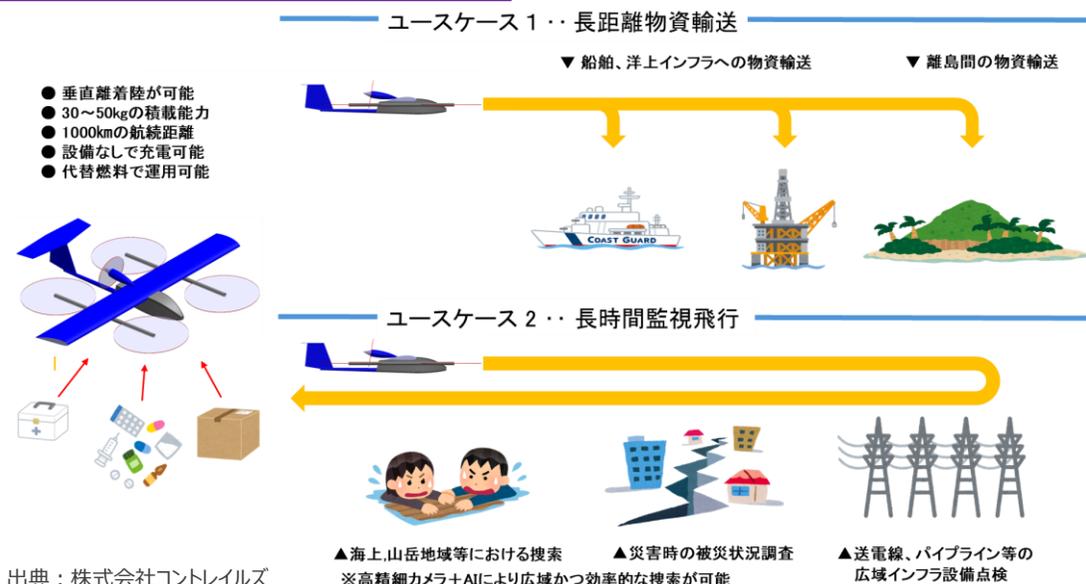
- 機体構想および基本設計・詳細設計
- 重要要素技術の開発
 - ・代替燃料で運用可能なハイブリッド動力システム
 - ・高出力モーター
 - ・軽量構造技術
- 要素技術の統合および試験機の評価試験

実施体制

※太字：幹事企業

株式会社コントレイルズ、学校法人金沢工業大学、株式会社ザクティ、株式会社ジェイテクト、学校法人静岡理工科大学、株式会社ナイルワークス、ヤマハ発動機株式会社

事業イメージ（全体像）



出典：株式会社コントレイルズ